

「イラストレーションの仕事」

デザイン学科 谷口広樹 Hiroki Taniguchi



美術大学で後進の指導にあたる身としては、大学の教員である前にクリエイターとしてあるということが大事であると考えている。いろいろな仕事を通してのクリエイティブにおける制作の技法やエッセンス、そしてコミュニケーションの方法などを学生にリアリティを持って伝えようとしている。美術大学の教員はそうあるべきというそもそも論を示そうというのではなく、私の質から試行された私自身の教員としての方法論だ。とはいえ授業の中で自身の大学外の仕事フルを紹介することはなかなかむずかしい。そこでこのフェスタを利用して最近の仕事を紹介しようというものだ。今回展示するものはこの10月1日から全国のマルイで展開されているハロウィンと年末に展開されるクリスマスキャンペーンのビジュアルだ。20代半ばからこういった仕事をし続けているが、そうした仕事を通して培ってきた私の思想をどちらかに偏らないように学生に伝えようと授業をしている。死ぬまで現役のクリエイターで居続けること、これが教育の場でも必要であると自身に突きつけ日々過ごしている。



1983年東京藝術大学大学院美術研究科修了。高島屋宣伝部等を経てbise inc.を設立し現在に至る。受賞少々。長野オリンピックプログラムやヨックモックの缶のビジュアルの仕事などを筆頭に最近では手拭や風呂敷といった和のテイストの仕事も多く手がけている。また絵の創作活動はイラストレーションに限らずファインアート（絵画）へも及ぶ。他にグラフィックデザインにも携わり、ジャンルを超え積極的に活動する。



マルイ「ハロウィン キャンペーン ビジュアル 2016」



マルイ「クリスマス キャンペーン ビジュアル 2016」